

2月定例会 賛成・反対が分かれた議案等(本会議)

議員名・会派名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11 欠 員	12	13	14	15	議決結果
	稲村 千尋	川口 健	竹部 隆	越村 修	赤尾 光一	杉山 恭平	室伏 友三	後藤 雄一	新野 陽平	金森 和道		泉明寺みずほ	橋本 一実	山田 景照	高井 一幸	
議案番号	成風会	成風会	成風会	成風会	成風会	成風会	成風会	公明	明日熱	明日熱		女性	市民ク	新政	共産	
議案第1号	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	△	○	○	○	×	可
議案第6号	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	△	○	○	○	×	可
議案第8号	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	△	○	○	○	×	可
議案第19号	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	△	×	○	○	○	可

議長(5番 赤尾光一)は採決に加わりませんので、「-」で表示してあります。可否同数の場合は、議長裁決になります。

議決結果 可=原案可決 否=否決

採決結果 ○=賛成 ×=反対 退席=退 欠=欠席(早退・遅刻含む) 除=除斥

会派名 成風会=熱海成風会 公明=公明熱海 明日熱=明日の熱海

女性=女性の会 市民ク=熱海市民クラブ 新政=新政熱海 共産=日本共産党

討 論

議案第1号令和8年度熱海市一般会計予算 議案第6号令和8年度熱海市下水道事業会予算 議案第8号令和8年度熱海市初島漁業集落排水事業会計予算

反 対 高井一幸 議員

議案第1号において、伊豆山土石流災害被災地域の復旧・復興施策の前提として、責任などの問題を裁判所の判断に委ねるだけでなく、犠牲者、被災者の苦しみを和らげ、相互の理解と納得を土台とした和解の道を目指すべきである。また、答弁における、本市の基幹産業に利益があれば自ずと市民側に利益をもたらす、という論理は「失われた30年」を招いた国政の二番煎じであり問題である。

議案第6号・8号について、公共施設運営に民間企業を参入させる準備計画が引き続き進められているが、市民の財産であるインフラを民間企業の利益収受のために提供することはあってはならないことである。

以上のことから反対する。

議案第19号熱海市伊豆山土石流災害に伴う固定資産税及び都市計画税の減免の臨時特例に関する条例の一部を改正する条例

反 対 泉明寺みずほ 議員

2年前の条例制定時、1年前の1年延長とする改正条例提出時に述べた反対の内容と同様に、いたずらに税に関する法の下での平等を阻害するような取扱いをすることは、課税権者である市長の裁量権の濫用であるとともに、被災者その他の市民との分断を招くことに繋がると心配することなどから反対する。

賛 成 越村 修 議員

当該地域の社会資本の復旧の状況や被災者の方々の負担軽減となることを勘案し、令和8年度においても引き続き市長の職権で一律に減免を行うことは必要であり、本条例の改正に賛成する。